

CGFA Referee Academy 活動報告  
第7回 2025年11月 (1年目)



◆参加者情報							
アカデミー受講生	佐野生昂、松本清惺、宮崎樹、柳林謙吾						
インストラクター	宮部RAM、内田RAI、藤内RAI						
オブザーバー							
◆プログラム							
月日	開始時刻	終了時刻	講座名	テーマ	担当	場所	備考
11月 22日 (土)			集合	MCMに間に合うように集合・準備			
	11:00	13:00	試合分析	プリンスリーグ 皆実高校-創志高校R-松元 AR1-坂野	宮部INS	皆実高校グラウンド	〒734-0001 広島市南区 出汐2丁目4-76
	13:30	15:30	試合分析	プリンスリーグ 瀬戸内高校-作陽高校R-宮崎 AR1-柳林	藤内INS		
	15:30	16:00		移動			
	16:00	17:30	振り返り	ビデオ分析	藤内・宮部	広島スポーツ会館 会議室	〒733-0036 広島市西区観音新 町
				片付け・解散			
11月 23日 (日)	9:00		集合				
	9:00	10:30	フィジカルトレーニング	フィットネステスト	藤内INS	広島国際学院高校 グラウンド	〒736-0003 広島県安芸郡 海田町曾田1-5
	10:30	11:00		移動			
	11:00	12:00		競技規則テスト	内田INS	海田東公民館講座室1	〒736-0011 広島県安芸郡 海田町寺迫2-2-
	12:00	13:00	ディスカッション	映像分析	宮部INS		
				片付け・解散			

22日 試合

1試合目(写真とコメントはレフェリーより)



腰によるチャージをいい角度から見極めることができました。



トリッピングのファウルもいい距離と角度から見れています。



こちらのシーンもカウンターからのトリッピングのファウルでポイントオブコンタクトから離れないように言いポジショニングをとることができました。



キッキングのファウルも近い距離で見極められています。

## 2試合目

スライディングタックルをいい位置で確認できています。



## 自信をもって PK のシグナル





PK 時 写真左端に選手がいます。このような時の立ち位置は難しいですね。



FK での再開を邪魔する場面 目を残しています。



# CGFA Referee Academy 活動報告 振り返り



パワハラではありません（笑）

## 23日 フィジカルトレーニング(フィットネステスト)



↑YOYO テスト  
←40mスプリント

## 競技規則テスト

テスト直前までみんな競技規則の改正点を中心に見ていました。最高点は89点(松元君)でした

## ディスカッション 事象分析



## CGFA Referee Academy 活動報告

### アカデミー生の感想

1 日目に、プリンスリーグの試合を担当しました。私は A1 を担当しました。この試合で意識したことは、難しい判定を自信を持って下すことと、主審の助けになることをすることでした。結果的にオフサイドは一度も無く、揉め事もなく試合が終了しました。難しい判定は一度あり、FW がラインギリギリにいて、味方が蹴ったボールに追いかけるシーンでした。このシーンはしっかりプレーに正体できており、手前のタッチラインも視野に入っていたため、タイミングよく判定することができました。しかし、試合を通して、気が抜けラインがずれていることも何回かあったので、そこは修正しなければならない点だと思いました。主審の助けになることをするという場面ですが、特に A1 サイドでファールはありませんでしたが、ゴールキックの際にボールが正しい位置に静止されているシークレットサインや正しい位置に置かれていない時に、フラッグアップをして主審と連携をとることができました。自分の試合の後に仲間の試合を見学しました。自分にはない武器を見ることができたら、客観的に見ることができたので、自分のレフェリングに活かせるところは活かしていこうと思いました。試合後にはファウルジャッジをメインとした映像分析を行いました。自分が現場で見た景色と映像の景色で差があったので、この差をなくしていけるような監視の仕方、予測をしていこうと思いました。2日目はまず、フィットネステストを行いました。40m 走のプール基準は 5.3 秒と言われましたが、5.3 秒には届かなかったので、スプリントを早くするためのトレーニングを取り入れなければと思いました。次に yoyo テストをしました。記録は 60 本です。自己ベストには届きませんでしたが、仲間と一緒に走ることで、とても頑張れたし、もっといってやろうと感じました。その後は競技規則テストをしました。結果は 76 点でした。これでレフェリーをするのは選手のためではないので、徹底していかないといけないと思いました。一度に集中してやるのではなく、日々の取り組みが大切だと思いました。

今月のアカデミー活動は非常に有意義でした。1 日目には中国プリンスリーグで主審を務め、2 日目にはフィジカルテスト、競技規則テスト、ディスカッションを行いました。最近、自分の中でファールの基準が曖昧になっており、特に些細なファールやグレーな部分の判断が難しく感じていました。1 日目の試合では、ファールかノーファールか迷う場面があり、映像を振り返ると、明らかにファールであるにもかかわらずノーファールと判断したケースもありました。宮部さんからのアドバイスを受け、ファールの判断においては、瞬間だけでなく、その前の距離や勢い、接触の強さを見極めることが重要だと感じました。これまで自分なりに判断していたつもりでしたが、実際には正しい判定ができていない場面がいくつかあったことを反省しました。2 日目のディスカッションでは、アカデミー生同士で些細なファールについて意見交換を行い、映像を見ながら正しい判断をするための話し合いができました。今回のアカデミー活動を通じて、自分のファールの判定が漠然としていたことを強く感じました。これからは、より高強度の試合やスピードの速い試合においても正しい判定ができるよう、映像を活用してファールをしっかりと見極めていきたいと思います。

今回のアカデミー活動では自分自身で自発的な行動力を今後の生活を含めて増やしていく必要があると感じた活動であった。

1日目の試合実践では1試合を通してファウルである、ファウルでないのはっきりとした判定の部分では比較的素早く判定を下すことができていたと感じた。しかし、ファウルかもしれ

## CGFA Referee Academy 活動報告

ない、ファウルではないかもしれないとなったときに判定のスピードが遅れ、選手やスタッフからの声が上がってから判定を下すシーンが多くみられ、自発的に自信を持った行動ではなく他人に合わせながら行動をするようになってしまっていた。それは審判員、主審を担当する上での信頼を大きく損なってしまっていると感じた。また、なにかが起ころかもしれないという自分自身のアラートもつけることができていなかったことから、自分が目で見た映像と撮影された映像に大きな差ができてしまっていることも今後の課題として見つかった。事象をぼんやりと見るのではなく、見てそれらをしっかりと言語化できるような力を今後つけていけるようにしていきたい。

それら身につけるためにもサッカーにかかる時間を今まで以上に増やし映像からアラート面や素早い言語化に繋がるようにしていきたい。

2日目の活動では前日の活動もあったなかで厳しいスケジュールの中でも2日間をしっかりとやりきる体力作りと回復力の重要性に気がつくことができた。2日間連続で審判活動があるときにどちらの試合でも100パーセントのパフォーマンスが発揮できるように特に今回は40mのスプリントの面で課題が出たので向き合っていきたい。競技規則テストに関しては目的意識をしっかりと持ち、テストでいい点数を取ることを目標にするのではなく、試合で落ち着いた行動を取れることを目的にしていきたい。

映像ディスカッションに関しては自分が見たものがすべてであると感じず、多くの人がさまざまな角度からその事象を見ていることを理解し自分だけの見方にこだわらないためにも自分自身の課題であるオープンな姿勢で取り組めるようにしていきたい。

今回のアカデミー活動も大変充実した活動になりました。1日目の試合では自分は副審として主審のサポートを意識して行いました。良い点もありましたが課題点もでて、特にオフサイドの判定は副審として一番なのですべてのオンオフを試合終了後にはっきりと自信をもって判定できたといえるように色々チャレンジしてやっていけないと感じました。ファウルやその他の事は主審の動きをよく見てサポートできたと感じます。映像分析では主審がその時どのような事を考えていたのか、どのような心境だったか、なぜ出来なかったかを皆でディスカッションして自分ではどうするかを他の意見を聞き、整理することが出来た部分が多かったです。すべての事象をなんとなくではなく試合終了後に事象を言語化できるように考慮点をしっかりと掴んで判定していく、そのために予測してポジションをとらないといけないことを改めて感じました。常に頭をフル回転させて想定内をたくさん考えておき、イレギュラーを少なくすることが正しく判定していく上で大事なと学びました。そのためにトレーニングして体力をつけて、きつい状態でも頭をクリアにしてしっかりと考慮点を掴めるようにできるようにしていきたいです。二日目にはフィットネステストと競技規則テストも行いました。yoyoテストでは自己ベストを更新できたが、まだまだ走れるようにトレーニングを継続していきます。競技規則テストでは、試合での適用ミスをしないうえにも日々の自主学習を今以上に行っていないといけないと強く感じました。現時点での自分の能力を知れて、今後さらに上のレベルで活動していくために自己研鑽を怠らずに活動していきます

次回は12月13, 14日(@山口 維新公園)の予定です。